

2009.12.5

(第三種郵便物認可)

(13)

戦争の悲惨さ後世に

千葉市大空襲「100人の証言」発刊

千人近い市民が犠牲となつた大空襲の悲惨さを後世に伝えようと、市民らの証言を集めた「千葉市大空襲とアジア・太平洋戦争の記録」100人の証言」が発刊された。

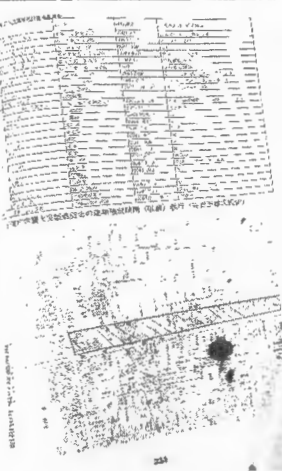
市平和都市宣言20周年を記念し、全日本年金者組合市支部協議会と市平和委員会が協賛。同協議会議長の白井進さん(81)ら6人が編集委員を務めた。

千葉鉄道機関区などを襲つた1945年6月10日の爆弾空襲、中心市街地を焼き尽くした7月7日の「七夕焼夷(しやうい)弾」を体験した市民など1200人余に対し1年がかりで聞き取り調査。

このほか、県内の戦時中

生活や満州(中国東北部)、上海、朝鮮、サハリンからの引き揚げ、軍隊の体験談、戦争に反対し治安維持法で逮

捕された人の証言も収録。「100人の証言」はA4判、342頁。鉄道機関区の罹災(りさい)報告書



発刊された「千葉市大空襲とアジア・太平洋戦争の記録」100人の証言」

や、市街地の類焼を防ぐため建物を強制破壊した際の図面など貴重な資料も収められている。

終戦時、15歳だった白井さんは大阪の陸軍幼年学校から戻った時、「建物が消え千葉駅(現・東千葉駅)から県庁が見渡せた」と空襲のすさまじさ